

平成 29 年度鹿児島県看護協会 鹿児島地区第 6 回研修会

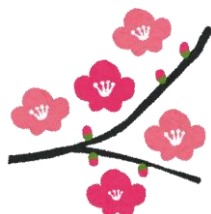
テーマ： 家族の心に届くケア

～グリーフケアとエンゼルケア～

日時： 平成 29 年 12 月 9 日（土） 13：00～16：00

会場： 鹿児島県看護協会 2 階研修室

講師： いづろ今村病院 緩和認定看護師 中窪尊子 先生
悠善社 谷山葬祭 小倉 康 様



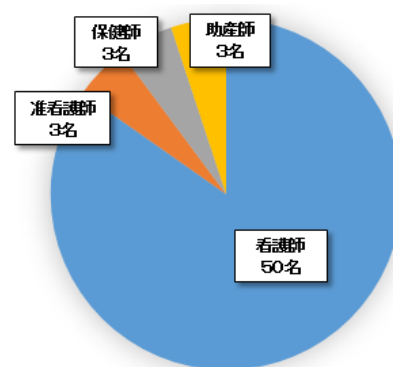
参加者： 66 名

(会員：56 名 非会員：10 名)

アンケート回収： 59 名

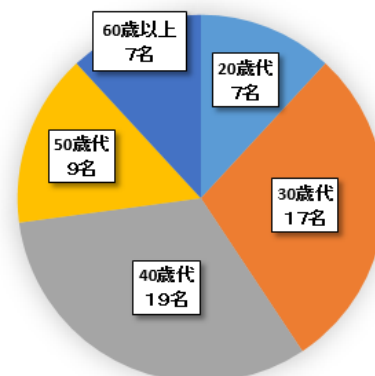
<職種>

看護師 50 名
准看護師 3 名
保健師 3 名
助産師 3 名



<年齢>

20 歳代 7 名
30 歳代 17 名
40 歳代 19 名
50 歳代 9 名
60 歳以上 7 名



<参加動機>

- 1) テーマにひかれたから 52名
- 2) 人に勧められたから 7名

<研修内容>

- 1) とてもよかった 44名
- 2) よかった 15名

<研修の感想やご意見>

- とてもわかりやすい講義だった。今後のケアに活かしたい。
- 家族が死を“理解している”と“受け止めている”の違いを見極める必要があることを再認識した。
- 大切な人と別れる人々に寄り添う姿勢について学ぶ事が出来た。
- もっと寄り添える看護ができるようになりたい。
- 日頃から心を込めてケアする事の大切さ再認識した。

<研修の時間、場所についてのご意見>

- ・会場が狭く窮屈だった。
- ・研修は午前中でもよい。

<次回企画してほしい研修について>

- ・エンゼルケア
- ・エンゼルメイク



<研修を終えて>

「家族の心に届くケア～グリーフケア・エンゼルケア～」と題して講演をしていただきました。死別で起こるグリーフ反応や死別体験者に見られる対処行動、また悲嘆のプロセスの最近の考え方、悲嘆のプロセスに影響を及ぼす要因等、一つ一つがわかりやすい内容で理解が深まったのではないのでしょうか。また看護師自身の悲嘆とケアでは、自分自身にとってもつらい患者の死とどう向き合うか等について学び、振り返りの機会になりました。

本日の学びを自施設のスタッフと共有し、より良いケアに繋げていきましょう。

平成 29 年 12 月 22 日 文責 恒吉里美

～ナースシップ 仲間をふやそう !! ～
鹿児島地区の看護協会員数は、6000 人に達しました!!

入会希望の方は
こちらから!!



入会してポイントを貯めよう! 当日入会も
出来ますよ～(*^_^*)/